

## 第43回文化祭 轍 — わだち —

### 三宅キャンパス感動の集大成!! この熱い思いは新キャンパスへ!

これまで、多くの文化祭がこの校舎で催されました。今年は「轍—わだち—」をテーマに第43回文化祭が開催されました。このテーマには現校舎では最後となる今回の文化祭を今までの集大成とし、また思い出の「轍」として心に残るような文化祭にしたいという思いが込められています。



— 38回



— 39回



— 40回



— 41回



— 42回



43回 中学3年1組製作  
「未来への足跡」

# 祭

北校舎では高校生が中心となり華やかで創造性に富んだ催しがなされました。また、グラウンドにはダンスやバンドステージの躍動感いっぱいの音色、各模擬店のおいしそうな香りが満ちあふれ、大いに盛り上がりました。



メインステージ  
躍動感に満ちた華やかなダンス

バンドステージ  
大音量の演奏でみんなを圧倒!!



II-4 とくやマシン  
ピタゴラススイッチを上回る仕掛けと規模にみんな驚きました。



I-4 スイートポテ夫  
味がいろいろ選べるサツマイモスティックに、頬を落としました。

この校舎で行う最後の文化祭になるので、私達は先輩方が築かれてきた文化祭を辿って今年の文化祭につなげたいと思いました。そこで、正門の両サイドに過去に先輩方が作られた正門の写真をはり、それを見ながら進むと私達中学3年1組が作った正門に辿り着けるようにしました。  
3年1組 齋藤 優利奈

### CONTENTS

- 第43回文化祭 ————— 1・2
- 中2・高II研修旅行 ————— 3
- 中3学習合宿 ————— 4
- 高I 社会人講演会 ————— 4
- 各賞受賞 ————— 4
- 大学入試合格速報 ————— 5・6
- クリスマスマッチ ————— 6
- CLUB NEWS ————— 6

中学1年 合唱「響力～きょうりょく～」  
展示「GET一手に入れたもの」



クラスで練習した成果を披露



今までの学習を振り返り、自分の成長を楽しみながらの作業

もし来年も合唱コンクールがあるなら、皆で今回よりもさらに協力し、助け合いながら優勝したいと思います。あと、来年からはこの校舎ともお別れで別の校舎に移ってしまうので、新校舎で第一回目の文化祭にふさわしいイベントをやりたいと思っています。来年入学してくる新一年生をあっと驚かせて、いい学校だと思ってくれる文化祭にしたいです。 1年5組 大高下 洋平

中学2年 研修旅行展示

私がこの文化祭で学んだことは、協力の大切さです。私は京都を担当していてちぎり絵をしました。ちぎり絵は一つ一つ折り紙をちぎってはっての繰り返しでした。毎日放課後やっていたらとても疲れました。でも同じ班の人たちと協力をして、どうにか期限までに終わらせることができました。みんな、期限に間に合うように、終盤は特に一生懸命にやっていました。だから私はこの文化祭で協力することの大切さを学びました。 2年2組 豊田 絵理



ちぎり絵(That's Kyoto)

# 学び

中学1年生は合唱や中学校に入学して学んだ各教科の授業内容や行事についての展示をしました。中学2年生も京都・奈良の研修旅行について、中学3年生は平和について、日頃の学習を活かし展示をしました。また、高I ニュージーランド語学研修や高II 研修旅行(マレーシア・サラワクスタディツアー)の参加者も異文化のなかで自分が感じたことや学んだことを発表・展示してくれました。

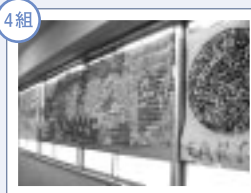
中学3年 平和メッセージ



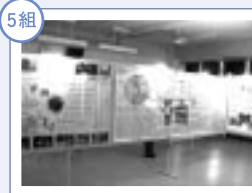
平和学習の一環として、「原爆ドーム」のモザイク画と「明日の神話」の立体的レプリカを作成しました。作品を通して平和であることの重要性と難しさを知りました。



ロミオとジュリエットを基にした演劇「Love & Peace」。作品を通して訴えたかったのは、差別がない世界の素晴らしさ。意見をぶつけ合う中で、クラスの結束もいっそう強まりました。



平和への祈りを託し、毎日コツコツと折り鶴を折り、五千羽の折り鶴に思いを託した巨大モザイクなど、一万羽以上の折り鶴を作りました。



教室を半分に仕切り、片方には笑顔、もう片方には悲しんでいる顔を張り、それに関連した内容について模造紙にまとめたり模型を作ったりして発表しました。

高校II年 マレーシア研修旅行

マレーシアの研修旅行に参加した高校生は、10分間の番組「ニヤマイ～素敵なイバンの暮らし」と体験記「Rumah Panjai～長い家の住人たち」を制作しました。番組制作では、ロングハウスで撮影したDVDのリストアップから、ナレーションの吹き込み、音楽・テロップ入れまでの編集作業を行い、文化祭第1日目の体育館ステージで上映されました。体験記は、現地で取材した情報や写真、イラストを使って編集され、文化祭第2日目に生徒たちによって配布されました。

Rumah Panjai(ルマ・バンジャイ)の表紙



マレーシアに行く前、私たちはどんな本を作ろうかとたくさん話し合いました。そして、私たちの体験記は「ロングハウス」に注目することにしました。イバンの人たちの生活をロングハウスを通して読者の人たちに知ってもらいたかったからです。日本とは全く違う異空間の中でたくさんのことが私たちの中に自然と入ってきました。それを日本に帰ってきてから「言葉に表す」という作業をしました。この本を通してマレーシアの輪を上げることができてよかったと思っています。

II年4組 福長 奈実

高校I年 ニュージーランド語学研修

私たちは文化祭準備中、ニュージーランドで味わった最高の感動や経験をいかに上手く伝えるかを必死に考えました。その結果、英語でのプレゼンや写真展示といった手段で見に来て頂いた人の心を動かすことができたと思います。本当に大変だったけれど、私にとって最高の思い出となりました。

I年1組 神村 千香子



英語によるプレゼンテーション



これから、本校は「広島なぎさ中学校・高等学校」と校名を変更し、また新校舎へと移転しますが、この文化祭の思い出は、生徒や来場してくださった多くの方々の心のなかに深く「轍」として刻み込まれたことでしょう。そして、この思い出の「轍」が未来へ向けての道筋を作ってくれると思います。

I-2 新校舎への架け橋  
～2008年校名変更「NAGISA」～

## 中2 研修旅行



### 奈良・京都

日程／平成19年10月9日(火)～12日(金)

夏休み前から執筆を始めた『研修旅行記』を片手に、今年も中学2年生は奈良・京都へ3泊4日の研修旅行へ行ってきました。仲間とも協力しつつ見学地の調べ学習をしっかりと行い、現地では本物のもつ凄さに圧倒された4日間でした。1日目は東大寺大仏殿の前に思わず言葉を失い、法隆寺エンタシス柱の曲線に感動しました。2日目の明日香サイクリング研修では古代の風を体全体で感じることができました。3日目の京都タクシー研修では金閣寺の輝き、銀閣寺の静けさに感動したのはもちろん、タクシーの運転手さんとの交流も良い思い出になりました。4日目は京都大学訪問を初めとしてコース別研修を行いました。そして、旅行後に実施した研修旅行記コンテストを通して、学びをより深いものにすることができました。



エンタシス柱の曲線に感動(法隆寺回廊)



大仏の大きさに絶句(東大寺にて)

私は今までメモをとるという習慣はゼロでした。何か思っても「あとで書けばいいや」と、どんどん後回しにしていた。案の定、大切どころが抜けていたり、自分がどう思っていたのかなども忘れてしまい、あやふやな感じになっていました。でも、この研修旅行を通して、すぐにメモにとるという習慣が身につく、まとめるときなど大いに役立ちました。すぐ単純な作業かもしれないけれど、書き留めるということはとても大切なことだなと思いました。 2年4組 岩本 真衣



## 高II 研修旅行



### 沖縄・伊江島ホームステイの旅

日程／10月7日(日)～10月12日(金)



演奏直前の追い込み特訓



民泊先の「おとう」と浜辺の散歩

高校2年生の24名が11軒のお宅に分かれて伊江島で5日間を過ごす研修旅行に出かけました。ステイ先のお仕事である農業(サトウキビ、野菜)、育牛、食堂、民芸品づくり、ヤギの肥育に参加。また、三線の師匠、沖縄独特の船サバニの船大工さんなど島独特のお仕事をせっせとやらせたりと接することもできました。全員での三線教室では生徒も民泊先の御家族も熱が入り、早い仕上がりで。3日を過ぎた頃からお互いの気心もわかり、最後、「島の家族」との別れを船上で惜しみました。

貝工芸、サトウキビ収穫、黒糖製造、三線。こういった沖縄ならではの体験も楽しかったのですが、一番心に残っているのはもっと普段の何気ないことです。早朝、「おとう」と海岸沿いを散歩したこと、「おとう」と三線をしたこと、お風呂上りに「おとう」と「おかあ」と庭で星空を眺めながらくつろいだことなど。「最近こんなにゆっくと時間を過ごしたことがあったかな、普段こんなに家族と話をしているっけ」と思いました。島では時間がゆっくと感じ、充実していました。

II年3組 増田 ちひろ



### 北海道スキー体験コース

日程／12月23日(日)～12月28日(金)



平野 健人くん(II-1)の華麗なるスキー

大きなケガや病気もなく、スケジュールも順調に進み、快晴・パウダースノーという絶好のコンディションのもと、4日間スキー実習を行いました。インストラクターの方の丁寧な指導により生徒はどんどん上達していき、実習最終日に行ったバジテストでは、2級2名・3級4名・4級41名が合格。スキーが初めてという生徒が多い中、最後までスキーを満喫していました。



インストラクターの方と一緒に記念撮影

北海道の雪はさらさらで軽く全く抵抗がないので、とても滑りやすく、みんな最後のフリースキーでは、初日とは比べものにならないくらい上手く滑れるようになっていました。スキー以外にも充実していて、最終日に友達と一緒に過ごしたのは本当に楽しく高校生活最高の思い出となりました。

II年2組 西 健太郎



## 中3学習合宿

10月10日(水)～12日(金)、中学3年生は沼田校舎で学習合宿に臨みました。中3生は、現在中高一貫6カ年の第2ステージに進み、基礎学力の完成と応用学力を身につける段階に入ってきており、また自分の進路について真剣に考え始めなければならない時です。この合宿ではその両面から計画の実行がなされ、教科学習の基礎、発展を目指す授業がそれぞれ行われました。

また、外部講師および高校Ⅲ年生による講演では、進路を切り開き、前進して行くための心構え等を聞いて、今後の進路選択の礎とすることができました。学習の充実と進路展望を切り開ききっかけとなる合宿となりました。



授業、確認、そしてテスト



Ⅲ-2 吉本 明未さん



Ⅲ-5 伊勢田 憲史くん



真剣に講演を聞く生徒達

高Ⅲの吉本先輩は夢を持つことの大切さを教えてくれた。伊勢田先輩は、自分のサッカーの経験を通してすごく分かりやすく、色々なことに結びついてくる「目標」について話してくれた。やっぱり共通点としては「継続」することの大切さだ。今回の学習合宿を通し、勉強することの楽しさは見えてきた。今回の講演をしっかり胸に刻み、生活していきたい。

3年2組 山口 仁視

講演に来てくださった先輩は二人とも努力をしている。夢をしっかり持っている。やっぱり夢を持たないといけないのだと思った。夢を持ったらそれを目指してやっていけばいい。夢を叶えるためには努力をしなければならない。夢を持っている先輩は二人ともよい顔をしていた。だから自分もまずは夢を見つけることから始めて、その夢を叶えるために努力したい。

3年4組 庭田 一平

## 高Ⅰ社会人講演会

去る12月17日(月)、来年度の文理選択を控えた高校Ⅰ年生を対象に、本校の特色教育“人間科”授業の一環として社会人講演会を実施しました。生徒たちは、8つの分科会(講演)から希望する2つの分科会を事前に決定し参加します。また、本年度より分科会に加え、パネルディスカッション(講師4名ずつ2会場に分割)を実施し、より多くの講師の話を知ることができました。生徒たちが講師の話を通して、仕事のもつ社会的(本来的)意義や、仕事に対する使命感などを知り、積極的な進路選択ができることを願っています。



栗屋氏による講演



パネルディスカッション

“やりがい”のある仕事につきたいと思っていたけど、最初から分かっていなかったっていいのではないかなと思った。仕事を実際にして、経験してからでないと分からないこともあるので、もっと別の方向からも仕事を見ようと思う。

I年1組 保出 裕美

いろんな現場で働く方々の話を聞いていて思ったのは、仕事は楽しいこと以上に苦しく辛いことがたくさんあるということ。それでもその仕事を続けていけるのは、いかにその仕事が好きであるかということだと思う。

I年2組 白井 里紗

### 講師の先生方

荒川 共生	特定非営利活動法人アジアボランティアセンター事務局長
栗屋 仁美	比治山大学短期大学部総合生活デザイン学科准教授
加藤 正巳	(株)河合楽器サービスセンター技術課 調律師
酒井 美奈子	中電病院総看護師長
田中 一範	(株)田中倉庫運輸代表取締役
田中 千秋	田中法律事務所 弁護士
福田 由美子	広島工業大学工学部建設工学科准教授
藪井 和夫	中国新聞社メディア企画部部长・編集委員

(敬称略)

## 各賞受賞

第53回青少年読書感想文全国コンクール広島県審査	佐藤 広宙	(I-5)	入 選
第7回中国新聞「みんなの新聞コンクール」新聞切り抜き作品の部	石本 誠	(II-4)	入 選
第57回広島県統計グラフコンクール	北原 惇士/大塚 桃子	(II-3)	入 選
青少年からのメッセージ 作文部門 高校・一般の部	増田 ちひろ	(II-3)	一 席
拓殖大学 後藤新平・新渡戸稲造記念 国際協力・国際理解賞コンクール	大東和 華子	(II-1)	佳 作 賞
中学生の税についての作文	日浦 瞳子	(3-4)	優 秀
中学生の税の作文・習字(作文)	岡井 悠将	(3-2)	特 賞

# 大学入試合格速報

1月19日(土)・20日(日)に大学入試センター試験が終わり、高校3年生は、今や私立大学入試、国公立二次試験に向けてラストスパートをかけています。そんな中で一足早くAO入試や推薦入試などで将来の夢への第一歩を踏み出した生徒もいます。勉強や進路について模索している中学生や高校生のみなさん、先輩たちのメッセージをしっかりと受け止めてください。

## 2008年度入試 大学合格状況

[国公立大]		2008.1.10現在	
大学	学部	合格 男子	合格 女子
東京学芸大	教育		1
	理	1	
広島大	理		
	文		1

[大学校等]		合格	
大学	学部	男子	女子
海上保安学校		1	

[留学等]		合格	
大学	学部	男子	女子
ハンガリー国立セゲド大	医予備コース	1	

[専門学校等]		合格	
大学	学部	男子	女子
ヒューマンアカデミー			1
名古屋コミュニケーションアート			1

[私立大学]		合格	
大学	学部	男子	女子
青山学院大	文	1	
	上智大		1
明治大	法		1
	理工	1	
早稲田大	文		1
	創造理工		1
麻布大	獣医	1	
立命館大	文		1
	経営	1	
大阪薬科大	薬		1
甲南大	理工	1	
広島工業大	工	1	1
エリザベト音楽大	音楽		1
安田女子大	英語英米文		1



黒西 希(Ⅲ-1)

大学名 エリザベト音楽大学 音楽学部  
音楽文化学科 幼児音楽教育専修

### 志望動機

音楽やダンスを用いる幼児教育に興味があり、専門的に勉強したいと思ったから。

### 試験内容

面接・実技(ピアノ・声楽)・小論文・口頭試問

### 勉強方法

定期考査の勉強に力を入れた。毎回、「何点以上はとる」と決めて勉強していた。

### 高校時代にやっておいて良かったこと

クラブ活動。本当にたくさんのお話を学ぶことができ、自分が本当に好きなことに気がつくことができた。また、英検2級をとったこと。大学で単位認定してもらえた。

### 高校時代にやっておけば良かったなあと思うこと

TOEICや漢検などの英検以外の資格もとること。

### 先輩へのメッセージ

将来やりたいことがみつからない人は、身近なことから探してみるといいと思います。



隅田 泰章(Ⅲ-3)

大学名 明治大学 理工学部 建築学科

### 志望動機

小学生の時に遠足で訪れた広島平和記念公園で、とても50年以上前の建造物とは思えない先進的な設計に小学生ながら感心した。それが日本を代表する建築家、丹下健三氏の設計によるものだと知るのには後のことではあるが、この経験が自分を建築に向かわせる動機となった。

### 試験内容

面接・小論文

### 勉強方法

弱点をつくらない。高Ⅲまでに弱点を蓄積してしまうと、いざ受験勉強と考えた時、たまりにたまった弱点の克服に膨大な時間を奪われ、満足に問題数がこなせなくなる。そうならないためにも、毎回の定期考査ごとに復習を行い、弱点を克服しておくこと。

### 先輩へのメッセージ

苦手だから、という理由で簡単に夢をあきらめないで下さい。世の中の大部分は自分の努力で何とかできます。



平松 絹子(Ⅲ-3)

大学名 東京学芸大学 教育学部  
芸術スポーツ文化学科  
表現コミュニケーション専攻

### 志望動機

芸術表現の考察と実践を多方面から学ぶことのできる興味深い専攻だったから。また、表現することを他者とのコミュニケーションの側面から切り込んでいきたかったから。

### 試験内容

「表現とは何か」をテーマとする1,600字の作文(事前提出)・芸術分野の用語に関する小論文(3テーマ、各150字)・面接(受験生3人1グループ、面接官5人)

### 勉強方法

自分の志望する専攻の学問分野に関する本をたくさん読んだ。読むだけでなく、読み終わった後に自分の考えをまとめることが大切だと思う。また、普段から自分の考えをきちんと表現することに慣れておくこと。

### 高校時代にやっておいて良かったこと

マレーシア・サラワクスタディーツアーに参加したこと、フォトメッセージコンテストに応募したことは自分にとって役に立ち、吸収することも多かった。また、自分がやりたいと思うことに誠実に向き合うこと、他者と関わりながら新しい自分を発見していくこと、これらを意識して生活していたことが自分の向上心を高めたのではないかなと思う。

### 先輩へのメッセージ

受験にしても何にしても、周りとの比較ではなく自分との勝負だと思います。



大林 美貴(Ⅲ-1)

大学名 早稲田大学 文学部

### 志望動機

2回生から11のコースに分かれるので、より自分に合った学問を学ぶことができると思ったから。また、ブリッジ科目も多数あり、少人数制の授業スタイルも取り入れているから。

### 試験内容

4,000字以内の自己紹介文

### 勉強方法

中学生の頃から定期考査の勉強をしっかりとってきた。計画を立てて、どの教科も手を抜くことなく取り組むことが大切。

### 高校時代にやっておいて良かったこと

文化祭実行委員やアルバム委員など、学校行事に積極的に参加したこと。勉強も大切だけど学校行事に参加することも大切。大変だけど、やり遂げた時の達成感を味わうことはい経験になった。

### 先輩へのメッセージ

目標があればつらいことも乗り越えられると思うので、まずは目標を決めて、それを達成するために頑張ってください。



高井 翼(Ⅲ-4)

大学名 広島大学 理学部  
物理科学科

### 志望動機

世界最大規模の素粒子物理学の研究所であるCERN(欧州原子核研究機構)と共同研究をしている教授を知り、学力も含む様々な素質をみられるAO入試を受けることにした。

### 試験内容

面接・実技・英訳・講義

### 高校時代にやっておいて良かったこと

イギリス語学研修旅行で視野を広げたこと。これによって、入試で求められた学力以外の素養を高めることができた。

### 先輩へのメッセージ

進路はいくらでも変えられるので、好きな学科に進んで下さい。



森本 優子(Ⅲ-5)

大学名 大阪薬科大学 薬学部

### 志望動機

中学生の頃に、薬剤師の様々な仕事内容を知り、興味を持つようになった。

### 試験内容

志望動機や大学卒業後の希望進路などについて問われる15~20分の面接

### 勉強方法

学校の授業を大切に、毎回の定期考査に向けて勉強した。学校では、疑問点があればすぐに先生に質問をし、家では暗記ものを声に出して覚えた。

### 高校時代にやっておいて良かったこと

イギリス語学研修旅行に参加したこと。

### 先輩へのメッセージ

自分の興味があることには、何事にも挑戦して、夢に向かって頑張ってください。



山本 奈都美(Ⅲ-2)

大学名 広島大学 文学部  
人文学科  
ドイツ文学語学コース

### 志望動機

ドイツ人作家であるミヒャエル・エンデの作品が好きで、ドイツ文学に興味を抱くようになった。AOという自分を活かせる試験方法で受験しようと思った。

### 試験内容

1次:書類審査・ゼミナールに参加してゼミで感じたことをレポートにする・英文読解  
2次:テーマに沿ったプレゼンテーション・集団討論・面接

### 高校時代にやっておいて良かったこと

様々な学校行事に積極的に参加したこと。文化祭実行委員や学級委員、生徒会、応援団などの経験を通して多くのことを学んだ。

### 先輩へのメッセージ

些細なことでも何でも吸収して自分の中にためていけば、いつかそれが絶対に自分の力になるから、何事にも積極的に楽しく挑戦していいと思います。



### 瀧口 奈美 (Ⅲ-5)

#### 大学名

早稲田大学 創造理工学部  
建築学科

#### 志望動機

日本だけでなく、文化の異なる海外の特徴的な建築物を見て興味を持ち、自分自身で様々な建物を設計したいと思ったから。また、大学のオープンキャンパスに参加して、設備や環境のすばらしさに惹かれ、自分の夢が実現できそうと思ったから。

#### 試験内容

事前に提出した課題レポート中心の面接(受験生5~6人1グループ、面接官6~7人)

#### 勉強方法

毎日、家庭学習を始める時間を決めて、それを中学の時から守り続けた。塾には全く行かなかったので、授業に集中し、分からないところがあったら質問し、すぐに解決するように心がけていた。毎日の積み重ねが大切だったと思う。

#### 高校時代にやってよかったこと

クラブ活動、ニュージーランド語学研修、マレーシア・サラワクスタディーツアー、委員など、様々なことに積極的に参加したこと。

#### 後輩へのメッセージ

どの科目もまんべんなく頑張ることが重要だと思います。1つ1つの授業を大切にしてください。



### 大塚 恭平 (Ⅲ-4)

#### 大学名

海上保安学校  
船舶運航システム課程航海コース

#### 志望動機

幼い頃から海が好きで、何より人命救助という仕事に憧れと尊敬の気持ちがあった。決して妥協の許されない厳しい環境にあるものだと思うけど、その中で自分にできる精一杯のことをやって、自らの手で一人でも多くの人を救いたいと思ったから。

#### 試験内容

一次:一般教養および作文試験 二次:面接・身体検査・身体測定・体力検査(腹筋・反復横跳び・片手懸垂)

#### 勉強方法

過去問と問題演習。また、毎朝新聞に目を通して、できるだけ多くの知識や情報を得よう努力した。

#### 高校時代にやってよかったこと

部活動で心身ともに鍛えられた。

#### 高校時代にやっておけば良かったなあとと思うこと

考えるだけでなく、行動を起こさないといけないことがある。

#### 後輩へのメッセージ

本気で夢を抱いた時、人は本当に頑張れると思う。また、その頑張りは周囲の支えがあった時、より強いものになった。これからそんな関係をつくっていき、夢を持って頑張ってください。



### 丸吉 加那子 (Ⅲ-1)

#### 大学名

立命館大学 文学部  
人文学科日本文学専攻

#### 志望動機

古文や歌舞伎などの日本の伝統を学び、世界に伝えたいと思ったから。京都の大学という立地条件が魅力的だった。

#### 試験内容

志望理由書(1,600字)

#### 高校時代にやってよかったこと

読書。本を読むのが苦手という人も、ひょんなきっかけで好きになることがあるのでぜひ好きになってほしい。読書は思考力、想像力を増やす簡単な方法だから。

#### 高校時代にやっておけば良かったなあとと思うこと

読書。自分の言いたいことをうまく表現できなくて、「もっと本を読んでもいけばボキャブラリーが豊富になってうまく言えるのに・・・。」と何度も思った。

#### 後輩へのメッセージ

日々の授業、宿題、定期考査は絶対におろそかにしないで下さい。「受験勉強さえやれば良い」という考え方は間違っています。結局受験勉強の土台になっているのは日々の授業ですから、土台がしっかりしていなければいくら積み重ねてもくずれただけです。また、「相談できる人」「ぐちを聞いてもらえる人」を必ずつくってください。

## クラスマッチ

定期考査が終了し、冬季休業も目前に迫った師走の20日(木)から21日(金)にかけて、12月とは思えない暖かな日の中でクラスマッチが行われました。今年度は、男子の種目の変更され、ソフトボールに代わってバスケットボールが実施され、高校のサッカーは、昨年度から従来の学年ごとの

トーナメント方式ではなく、学年の枠をこえたリーグ戦方式で行われました。バレーボール、ソフトボール、長縄跳び、どの種目も盛り上がりを見せていました。高校Ⅲ年生にとっては今回が最後のクラスマッチです。受験前の最後の行事を大いに楽しんだようでした。



### 2007年度 クラスマッチ結果

学年	バスケットボール			サッカー			バレーボール			ソフトバレーボール			バスケット			長縄跳び									
	高校男子	中学男子		高校男子	中学男子		高校女子	中学女子		高校女子	中学女子		高校女子	中学女子		1年	2年	3年							
1位のクラス	3	3	4	4	1	1	Ⅲ-4	3	1	4	4	4	3	4	1	3	3	1	1	4	4	4	3	4	4

## CLUB NEWS

### 中学サッカー部

- 高円宮杯第19回全日本ジュニアユース(U-15) サッカー選手権大会 広島地区大会(Cブロック)  
日時:平成19年9月2日(日)・8日(土)・24日(月)  
場所:大竹中学校・東原中学校・広島広域公園第一球技場  
成績:ブロック優勝し、広島県大会へ出場
- 平成19年度広島市中学校新人サッカー大会 佐伯区大会  
日時:平成19年10月21日(日)・28日(日)・11月3日(土)  
場所:五日市中学校・城山中学校  
成績:佐伯区3位で広島市大会に進出

### 中学陸上部

- 平成19年度広島市中学校新人陸上競技大会  
日時:平成19年11月3日(土)・4日(日)  
場所:広島広域公園陸上競技場  
成績:男子走り幅跳び 長谷川 貴大(2-4) 第1位  
男子100m 長谷川 貴大 第2位

### 中高合唱部

- 平成19年度第31回広島県高等学校総合文化祭 音楽祭合唱の部  
日時:平成19年10月14日(日)  
場所:広島厚生年金会館  
成績:平成20年度第32回全国高等学校総合文化祭 出場推薦

### 中高バトンド

- 第24回マーチングバンド・バントワーリング 中国大会コンテストの部  
日時:平成19年11月3日(土)  
場所:広島県立総合体育館  
成績:高等学校の部 銀賞  
中学校の部 金賞

### 高校バドミントン部

- 平成19年度広島県高等学校新人バドミントン大会 学校対抗戦  
日時:平成19年11月10日(土)・11日(日)  
場所:びんご運動公園体育館  
成績:男子・女子ともにベスト16
- 中高吹奏楽部・室内楽部  
●第46回全国学校合奏コンクール(録音審査)  
日時:平成19年10月・11月  
成績:広島県大会 最優秀賞  
中国大会 優秀賞

### 中高吹奏楽部

- 第31回広島県アンサンブルコンテスト  
日時:平成19年12月22日(土)・23日(日)  
場所:安芸区民文化ホール  
成績:中学校部門 クラリネット6重奏 金賞  
高校部門 木管打楽器6重奏 銀賞